

## 神津牧場

神津牧場は、日本で最も古い西洋式の酪農場の 1 つです。その 400 ヘクタールの牧場は長野県との国境に近い群馬県南西部の物見山の東部に位置しています。

神津国太郎は、現代の農業技術を研究し、乳製品が日本人の健康を改善すると結論付けた後、1887 年に農場を設立しました。神津は山腹の牧草地でジャージー牛を育て、牛乳とバターを販売しました。ジャージー牛は比較的小さく、脂肪とタンパク質がより多く、濃い牛乳を生産し、バターを作るのに最適です。

現在、この農場には、年間約 400 トンの牛乳を生産する約 200 頭のジャージー牛が飼育されています。牛は 1 日 2 回搾乳されます。1 回は牧草地に出て放牧する前の早朝、もう 1 回は午後の早い時間です。19 世紀後半に品質ブランドとして定着した農場の「神津バター」は、今もなお人気があります。

### 体験型アトラクション

この牧場では、乳牛をはじめとする動物たちを見学したり、ふれあいの場を提供しています。午後 1 時頃には牧草地から牛が戻ってきて搾乳されます。訪問者は、牛たちが人間の介入なしに、レーンに沿って搾乳小屋に進む様子を観察できます。その他に、乳搾り体験やバター手作り体験もあります。

農場には繁殖プログラムと子牛を育てる「保育園」があります。雌は乳牛になり、雄は雌とは別の場所で、肉牛として飼育されています。

羊、ヤギ、ウサギがいる小さなふれあい動物園もあり、子供たちは小動物と触れ合うことができます。農場の下のパドックでは、数頭のポニーが草を食べています。ポニーに乗ったり、ヤギを散歩させたりすることもできます。

農場の後ろの山には、アナグマ、キツネ、クマ、シカ、イノシシ、カモシカなどの原生林の野生動物が生息しています。山にはそのほかにも数十種類の野鳥や渡り鳥がおり、バードウォッチャーの間で人気があります。

### ファームアメニティ

農場では、山の生態について学ぶためのガイド付きの森の散歩やハイキングも提供しています。農場で一晩滞在したい人のために、小さなロッジとキャンプ場があります。ロッジのミルクバスは贅沢な体験で、肌に良いとされています。

キャンプ場の近くには、バーベキュー場があり、そして農場では、卓上バーベキュー（焼肉）と和風カレーライスを専門とする小さなレストランも運営しています。神津牧場製のバターとチーズを販売する土産物店では、神津ミルクで作ったソフトクリームも提供しています。